

先駆的 ICT に関する懇談会（第 1 回）議事要旨

1. 日 時 平成 30 年 1 月 18 日（木）15 時 00 分～16 時 00 分

2. 場 所 中央合同庁舎（総務省）7 階 総務大臣室

3. 出席者

（メンバー）

甲田様、物部様、西山様（熊谷様の代理）、田中様、村井様、田口様、加納様、藤野様、
長谷川様（西川様の代理）

（総務省）

野田総務大臣、坂井総務副大臣、小林総務大臣政務官

鈴木総務審議官、武田総括審議官、山田情報流通行政局長、吉田総括審議官（情報通信
担当）、吉岡審議官（情報流通行政局担当）、今川情報通信政策課長 他

4. 議 題

- 1 開会
- 2 参加メンバーからの取組紹介
- 3 意見交換
- 4 閉会

5. 資 料

- 資料 1 - 1 先駆的 ICT に関する懇談会
- 資料 1 - 2 AsMama 提出資料
- 資料 1 - 3 エクスメディアオ提出資料
- 資料 1 - 4 GMO インターネット提出資料
- 資料 1 - 5 ジンズ提出資料
- 資料 1 - 6 ナイアンティック提出資料（非公開）
- 資料 1 - 7 bitFlyer 提出資料
- 資料 1 - 8 フェアリーデバイセズ提出資料
- 資料 1 - 9 Preferred Networks 提出資料

6. 議事要旨

（1）開会

（2）参加メンバーからの取組紹介

資料 1 - 2 から 1 - 9 にもとづき、各メンバーから取組説明が行われた。

(3) 意見交換

意見交換の概要は以下のとおり。

- ・今後、人口減少、高齢化社会が進む中で、やはり不自由になることも増える。しかし、それを覆すだけの力が ICT にはあると感じている。世の中に明るいメッセージを送れるようにしたい。
- ・インターネットで集まったデータを、我々の生活しているリアルにどのように落とししていくか。ジーンズのウェアラブルメガネやフェアリーデバイセズの AI スピーカーも、インターネットというテクノロジーをリアルに融合させる課題解決の一例になっている。民間企業は実際にそのような具体的な事例を持っているので、その事例を次はここで使えるのではないかとということ議論していきたい。
- ・「インフラ」、「データ」、そして「インフラとデータを活用してどう表現していくか」という3段階ある。
- ・ICT には、「コミュニティの形成」、「多様性の創出」という力がある。この場では、ハードウェアで勝負するか、ソフトウェアで勝負するかといった、勝負所はどこかというような議論もできる。
- ・Fintech に関連して、ブロックチェーンなどの新しい技術やサービスが出始めているが、グレーなゾーンが多い。
- ・民間企業がやっていることは、国全体の取組の枝葉の部分。枝葉の情報を集めた上でどのような国を作るのかという構想を作ることが重要。
- ・この部分はやっつけておかないといけないという部分の頭出しができれば良い。人口減少が進み圧倒的な生産性が求められる中で、この部分についてはターゲットになるような KPI をある程度設定しないといけないといった話があればよい。
- ・規制等についても、取り組んでいてここが邪魔だなという部分や分からないことが多くある。
- ・この場に出たアイデアが、1つ2つでも実際に政策として実現されて打ち上がることを期待している。
- ・現在、国が掲げている文化、慣習、制度と、地方自治体等の既存サイクルとの格差があるということはこの場で共有し、この部分は国主導で変えていけるというものを見つけられると良い。

(4) 閉会

以上